



テーマID	780
タイトル	手作りピンホールカメラで写真を撮ろう！
講師名	佐藤隆彦

自分で組み立てた紙製のカメラで、モノクロ写真を作ります。のりもハサミも使いません。

写真ができるまでの工程を通して、物の写るしくみや、光の性質、化学反応などを学んでいきます。特に撮影で光を当てた真っ白い印画紙を現像液に浸すことによって、じわじわと画像が浮き出てくる化学の不思議さをわくわくしながら直接体験できます。

1. 厚紙の箱を組み立てて、レンズの代わりに針で小さな孔を開けた銅板を貼ってカメラを作ります。
2. この手作りのカメラに印画紙を入れ、屋外で数分間露光して撮影します。
3. 暗室（理科室など）内で現像・定着するとネガができます。
4. ネガに印画紙を密着し光を当てて現像・定着すると白黒写真ができます。
5. 時間の合間にこども用テキストを使って、どうして写真が出来るのか、物の写るしくみ、いつ写真が発明されたか、また、写真が持つ表現力やコミュニケーション力などを解説します。
6. 全工程の授業時間は2時間半位、但し、ご相談ください。

